

産業競争力委員会活動の現況とWGメンバー募集

去る4月発足した「産業競争力委員会」はこれまでに2回の委員会、2回の合同WG、数回の幹事メンバー会合を経て、このたび、WG1「企業競争力のスタディ」およびWG2「技術のメガトレンドと社会・産業モデル」として活動を開始することとなりました。次ページ以降に、WG活動のスコープを示しますので、積極的なご参加をお願い申し上げます。

①すでにWGへの参加メンバーを登録頂いている会員企業はWG1とWG2のどちらにご参加頂けるかご回答お願い致します。

②まだWGへの参加をご回答頂いていない会員企業からも、積極的なご参加をお待ちしております。
なお、ご回答は8月23日(月)までお願い致します。

【経緯】

委員会	第1回委員会 2010年4月5日 メンバー間で討議 第2回委員会 2010年5月11日 講師:小川紘一氏(東京大学教授)
WG・幹事会	幹事メンバーと妹尾教授打ち合わせ 2010年6月24日 第1回合同WG 2010年7月2日 ファシリテータ:妹尾堅一郎氏(東京大学教授) 第2回合同WG 2010年7月20日 ファシリテータ:妹尾堅一郎氏 幹事メンバー打ち合わせ 2010年5月~8月2日まで数回
技術経営 会議	技術経営会議・運営委員会 2010年5月19日「新成長戦略へ向けた中長期的 視点からのインプット」を審議

技術経営会議 事務局
2010.8.6

WG1 企業競争力のスタディ

趣旨、狙い

日本経済は1990年代初頭に高度成長から低成長へ転じたまま現在に至っている。この日本経済の流れの中でこれまで第2次産業はどのような競争力を持ちどのような役割を果たしてきたのか、そして今どのような課題を抱えているのか整理を行う。

Scope of Work

① ビジネストレンドの理解

産業革命以降の第2次産業の変遷をグローバルに俯瞰する。その中で日本の第2次産業の変遷を過去40～50年スパンで俯瞰する。

② 企業の競争力の分析

既存の競争力モデル分析事例を一通り押さえた上で、調査すべき好業績企業を選定する。好業績企業の競争力の調査分析及び体系化を行う。

進め方

- ・ 情報収集は極力既存の資料や参考文献、図書を活用するが、必要に応じて訪問調査を実施。
- ・ 効率的な情報共有化方法を検討し連携のよい状態で活動を進める。
(WG2, 関係者含め)

WG2 技術のメガトレンドと社会・産業モデル

趣旨、狙い

企業の産業競争力は、技術や社会などの経営環境に大きな影響を受ける。企業や産業の特徴も、経営環境の変化により、強み・機会となり、また同じ特徴も弱み・脅威となり得る。

WG2では、技術のメガトレンドと社会・産業モデルの将来像を捉え、成長戦略のための中期的課題の抽出に資する。

Scope of Work

①領域の絞込み

各企業の興味のある産業領域をメンバーで持ち寄り、多くの企業にインパクトのある産業領域を、分析対象として3～5程度に絞込む。

②メガトレンド

各領域のメガトレンドを、技術軸、産業軸、社会軸などの観点から、過去、現在の分析、及び未来予測を行う。過去10年～未来10年を対象とする他、過去100年程度の長期も俯瞰する。併せて、どの様な社会・産業モデルになるかを考察する。

進め方

- ・メガトレンドの分析、予想には、既存の技術戦略マップ（経済産業省、その他学会、工業会等）、政府報告書の他、未来市場予測を担当している研究所の情報等、既存の調査結果を利用する。

- ・必要に応じ、参考図書を設定し、過去に蓄積された分析結果や手法を活用する。

共同作業（WG1+WG2）

趣旨、狙い

9月～2月のWG1及びWG2の検討をベースに3月から7月まで共同で検討する。WG2の描いた将来メガトレンド（環境）の中でWG1が洗い出した日本企業の特徴をどう活かし、あるいは改善していくべきかを検討し、競争力強化対策・提言をまとめる。

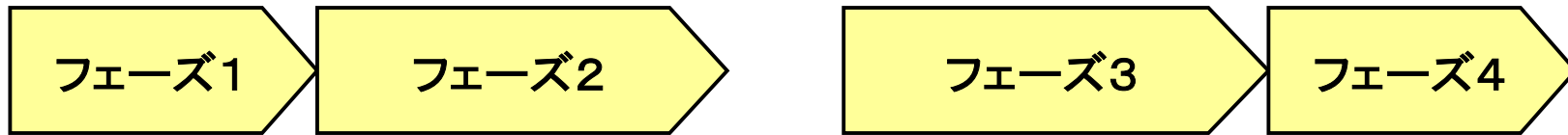
Scope of Work

- ③成長に向けた企業競争力モデル及び企業競争力強化方向の検討を行う。
- ④課題抽出
- ⑤競争力強化対策・提言を行う。

進め方

WG1、WG2で協調して実施する。
必要に応じて、検討体制を見直す。

WG概略スケジュール (案)



	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
WG1	①ビジネス トレンドの 理解	②-1) 調査企 業選定	②-2) 企業調査分析			★ 中間 報告	③成長に向けた、企業競争 力モデル及び企業競争力強 化方向の検討 ④課題抽出				⑤競争力強化対 策・提言		★ 最終 報告
WG2	①領域の絞込み		②メガトレンド調査分析				共同作業						

合同
WG